

全国消費実態調査の「調査目的の変更」に関する事務局の整理メモ

【現行】

2 調査の目的

全国消費実態調査は、全国の世帯を対象として、家計の収入及び支出並びに住宅と宅地の所有状況、主要耐久消費財の所有数量及び貯蓄・負債現在高を調査し、家計の構造を所得、消費及び資産の観点から総合的に把握するとともに、都道府県などの地域的差異を明らかにすることを目的とする。

【諮問時点での変更案】

2 調査の目的

世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにすることを目的とする。

【今回の調査計画の変更計画の概要】

① 調査体系の再編

現行の甲調査に変えて、家計簿調査を含む「基本調査」と家計簿調査を含まない「簡易調査」を導入するとともに、耐久財等調査票を廃止

② 報告者数の拡大

調査対象数の総数を拡大するとともに、調査単位区での単身世帯の抽出割合を拡大

③ 調査期間の見直し

家計簿の調査期間を従来の3か月から2か月に短縮

④ 調査事項の見直し

家計調査世帯特別調査の新設等

⑤ 調査方法の見直し

レシート読み取り機能を有したオンライン家計簿の導入等、調査方法の見直し

⑥ 集計事項の見直し

同時期に実施する家計調査等の結果を、全国消費実態調査の集計に活用

今回、資産項目や年間収入の精度向上のため、調査計画の全面的な見直しを計画していることを踏まえると、「調査の目的」に資産などの記述を追加することが望ましいのではないかと考えます。

【修正（案）】

例えば、

「2 調査の目的

家計の消費、所得、資産及び負債の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにすることを目的とする。」とすべきではないか。